

2 变量 x のとり得る値は 3 または 6 または 12 であり、 x についてのデータが 45 個観測されるとする。また、45 個のデータの平均値と中央値をそれぞれ \bar{x} 、 \tilde{x} と表す。 $\bar{x} = 12$ となるとき、 \tilde{x} のとり得る最小の値は $\frac{\text{キク}}{\text{ケ}}$ である。 $\bar{x} = 6$ となるとき、 $|\bar{x} - 6|$ のとり得る最大の値は $\frac{\text{コサ}}{\text{シス}}$ である。

3 関数 $f(x) = (1-x)\sqrt{\frac{x}{3}}$ ($x \geq 0$) は $x = \alpha$ で極大値をとる。このとき、 $\alpha = \frac{\text{セ}}{\text{ソ}}$ である。また、曲線 $y = f(x)$ の $\alpha \leq x \leq 3$ の部分の長さは $\frac{\text{タチ}}{\text{ツ}}$ である。



4 $\triangle ABC$ において、 $AB = 4$ 、 $BC = 6$ 、 $CA = 5$ とする。また、頂点Aから辺BCへ垂線AHを下ろ

し、AHの延長が $\triangle ABC$ の外接円と交わる点をDとする。このとき、 $\frac{BH}{CH} = \frac{\boxed{ア}}{\boxed{イ}}$ であり、

$\frac{AH}{DH} = \frac{\boxed{ウエ}}{\boxed{オカ}}$ である。

5 M、E、D、I、C、I、N、Eの8文字をすべて使って文字列を作る。

このとき、Cの両隣りがともにIとなる並べ方は全部で **キクケ** 通りある。

また、CとIが隣りどうしにならない並べ方は全部で **コサシス** 通りある。

6 2つの実数 x, y は、方程式 $2x^2 + 3xy + 2y^2 - 14x - 14y + 21 = 0$ を満たす。

このとき、 $x + y$ のとり得る値の範囲は $\boxed{\text{セ}}$ $\leqq x + y \leqq \boxed{\text{ソ}}$ である。

また、 $(x+1)(y+1)$ のとり得る値の範囲は $\frac{\boxed{\text{タ}}}{\boxed{\text{チ}}} \leqq (x+1)(y+1) \leqq \boxed{\text{ツテ}}$ である。

7 数列 $\{a_n\}$ は、 $a_1 = 3, a_2 = 3, a_{n+2} - a_{n+1} + a_n = a_{n+2}a_n - 1$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を満たす。

このとき、 $a_{101} = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}$ である。また、 $\sum_{n=1}^N a_n = 2019$ となるような N の値は $\boxed{\text{ウエオカ}}$ である。



- 8 3次関数 $y = x^3 + x^2 + ax$ のグラフが、 x 軸上のある点に関して対称になるような定数 a の値は
キ
クである。4次関数 $y = x^4 + x^3 + x^2 + bx$ のグラフが、 x 軸に垂直なある直線に関して対称
になるような定数 b の値は
ケ
コである。

- 9 1辺の長さが1の正四面体ABCDがある。辺ABの中点と辺CDの中点とを結ぶ線分の長さは
 $\sqrt{\text{サ}}$
シである。また、3点A, B, Cを頂点とする三角形を直線CDのまわりに1回転したと
き、三角形ABCが通過する部分の体積は
ス
セソ π である。

10 座標空間において、点(0, 1, 2)を通り、球面 $x^2 + y^2 + z^2 = 3$ に接する直線の全体を考える。

直線と球面との接点全体からなる图形は、面積が $\frac{\text{タ}}{\text{チ}} \pi$ の円である。

また、直線と平面 $z = 0$ との交点全体からなる图形は、面積が $\sqrt{\text{ツテ}} \pi$ の楕円であ

る。